



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

34号

平成30年11月21日発行

～副病院長のあいさつ～



皆様には地域連携にご協力いただき、ありがとうございます。

2018年もあと残りわずかとなりました。全国各地で地震や豪雨による被害が多発した年でした。

私は、小林市立病院で手術のための麻酔を担当しています。

手術を受けられる患者さんの多くが、高齢であったり、これまで持病や手術を経験されたことがあったりします。

患者さんが手術から順調に回復するためには、手術前のからだの状態の評価と適切な治療が大切です。手術を受けることになった病気によって影響を受けているからだの状態を、可能な限り良くしておくこと、以前から持っておられる病気を好ましい状態にしておくこと、服用されているお薬の麻酔や手術への影響を確認すること、麻酔や手術によるからだの各臓器への影響を最小限にすることも重要です。手術からの早期の回復のためには、術後の痛みを軽減するための適切な疼痛管理、手術の傷のなおりや臓器機能の回復のための栄養の管理、リハビリテーションの施行が欠かせません。

患者さんの早期の回復を助けるために、手術中の麻酔管理だけでなく、各科の先生や看護師、管理栄養士、リハビリスタッフと協力し合っています。

術前、術中、術後の管理にたずさわるとこで、地域医療の推進に協力したいと思っています。

これからも、ご協力とご指導をよろしくお願いします。

小林市立病院 副病院長 窪田 悦二

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯（しんし）な姿勢で日々研鑽（けんさん）に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します



コメディカル紹介

今回は

薬剤室

です。

薬剤室の紹介をします。以前、薬剤室は薬剤師だけでしたが、現在、薬剤室スタッフは薬剤師3名、看護師3名、事務職員1名で、忙しいながらも和気あいあいと以下のような業務を行っています。

1. 調剤室業務 : 定期・臨時入院処方調剤。 外来院内処方調剤と患者への交付。
2. 注射剤室業務 : 入院定時注射調剤、臨時注射調剤。 外来注射処方調剤・搬送。
OPE室・外来・病棟への注射剤払い出し・ストック薬補充等。
化学療法のレジメン確認・薬品準備、ミキシング指導、管理。
3. 薬品管理業務 : 医薬品の発注・検品・納品。 在庫薬品の保管管理（使用期限・確認等）。
薬剤室在庫薬品の棚卸し、外来・OPE室ストック薬の棚卸し（年2回）
麻薬管理。調剤済麻薬（内服、外用）の廃棄。麻薬注射施用残液の廃棄。
新規薬品のマスター登録、削除薬品のマスター削除等。
4. 事務業務 : 済み処方箋の整理・記録・保管。 血液製剤の記録・保管。
毒薬・向精神薬の在庫確認・記録・保管。 麻薬の記録・保管。
5. 薬品情報提供 : 入院患者持参薬確認・確認書作成。 入退院支援患者の服用薬確認等。

現在、薬剤師勤務体制が土曜は午後勤務、日曜祭日はオンコールとなっていますが、薬剤師の必要人員が確保されれば土曜、日曜も終日勤務（代休体制）、病棟薬剤業務も実施する予定です。

またDPC対象病院として運営する為の後発品のある先発医薬品の後発医薬品への変更では在庫数を調整しながらの作業で大変でしたが、スタッフ全員で対処してきました。これからも後発品への変更はあると思いますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

薬は適正使用により治療効果が現れるものであり、使い方次第では毒にもなるものです。薬に関してわからない事があったら、どんなことでも聞いて下さい。よろしくお願いいたします。

薬局室長 田村 栄子



看護部紹介



今回は、**3 階 病 棟**です。

当院はこの西諸医療圏で唯一分娩ができる病院と期待していただき、昨年より準備を進めて来ました。今年7月には産婦人科医の吉永浩介医師が着任し、妊婦さんやそのご家族が安心して安全な分娩ができるよう受け入れ体制の拡充に努めています。これまで住民の皆さまに温かく見守っていただき感謝申し上げます。

このような状況の元、今年7月の病棟編成で3階病棟には助産師5名が配属されました。助産師が中心となり妊娠・分娩・産褥・新生児看護の勉強会を主催したり、産科医師の講義、NCPR（新生児蘇生術）や新生児看護などの院外研修を経験し、分娩をより身近に感じる学びをして来ました。今後も分娩や蘇生術シミュレーションを積み重ね、個々の研鑽に励みます。

また、核家族化が進んだことにより、妊娠中のみならず赤ちゃんの居る暮らしが不安なまま過ごされている妊産婦の方々がおられます。私たちはそんな妊産婦さんの心のよりどころになれるよう、温かいコミュニケーション作りにも努めています。

元来当病棟は、整形外科・泌尿器科で急な入院や手術を受け入れていました。そこに分娩が重なることでより一層煩雑化することが予測されます。病院の理念である「安心、安全で信頼される病院を目指します」のもと努力して参ります。

来年1月21日に分娩予定日となる妊婦さんを受け入れるまで、もうしばらく時間があります。皆さまと笑顔でお逢いできるよう、ご理解とご協力をお願い致します。

3階病棟 看護師長 竹内 かおり



グローバルキッズ

平成 30 年 8 月 7 日に、小林市教育委員会が主催するグローバルキッズ事業の医療コースを当院にて実施しました。

市内の小学 5・6 年生と中学生を対象に、今回は小学生 15 名・中学生 3 名が参加しました。看護師の制服に着替え、病院の様々な仕事を見学・体験し、普段触ることの出来ない器具や入ることの出来ない場所などに皆さん興味津々でした！



血管ってこうなってるんだ！



～看護部体験～

採血・心臓マッサージなど
看護師さんのノウハウを教
てもらいました！！



採血って
難しいなあ～



どんな音が聞こ
えるかな？



～コメディカル体験～

リハビリ室・薬局・レントゲン室
・検査室・栄養室・臨床工学室の
見学に行きました。

がんばれ～！！



電気メスってすごいな！わくわく！



検査ってたくさんあるんだ～



11月 行事食 「勤労感謝の日」

- おながき
・ちらし寿司
・煮しめ
・赤魚のゆずみそ焼き
・茶わん蒸し
・茶そば汁
・刺身こんにゃく
・甘酒



勤労感謝の日とは??～

勤労感謝の日は、国民の祝日に関する法律第2条によれば、『勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう』とあり、それを趣旨としているそうです！！

農業国家である日本は、古くから五穀米の収穫を祝う風習があり、その年の収穫物に感謝する大事な行事として飛鳥時代に始まった『新嘗祭』

この日が天皇行事・国事行為から切り離される形で改められたものが『勤労感謝の日』であるそうです！

ほせ祭

五穀豊穰を祈願し豊年に感謝する秋祭りです。
祭りでは蒟蒻（こんにゃく）や甘酒が作られます。
当院では勤労感謝の日に行事食の一品として提供しています。



今回のお花

毎週すばらしいお花をいただいております。



新規医師紹介

横峯 辰生

診療科

総合診療科

趣味・特技

読書・釣り

小林市の印象

穏やかで、のどかで、落ち着く町の印象です。



ひとこと

鹿児島大学心臓血管内科より週1回水曜日に総合診療科として勤務しております。誠心誠意頑張りますので、宜しくお願いいたします。

診療予約について

当院では診療科での待ち時間短縮を目的として紹介患者様の事前予約を行っております。！！



予約方法

- ①別添の「診療予約申込書」にご記入のうえ、FAXでお送りください。
- ②担当科と協議の上、診療日時を決定し、「診療予約通知書」をFAXさせていただきます。

FAX番号：0984-23-8226

受付時間：9時～16時

※時間以外のFAXは翌朝、休日をはさむ場合は休日明けの対応となりますのでご了承ください

スタッフからのひとこと

実りの秋を経て、立冬、気付けば紅白の出場者が発表される時期となりました。年末感漂うこの時期、いつにも増して、どうしても気持ちが焦ります。焦りますが、焦るからこそ、焦らないよう行動しなければと思います。

仕事の場においても家庭の場においても、怪我のないよう、事故のないよう、よく考えて計画的に・・・とよく考えれば、これは年末に限らないこと。

今回「スタッフからのひとこと」欄を担当するに当たって、改めてこのことを確認でき、よかったなあと思う次第です。

そうです。年末に限らず、いつもやっていたら大掃除も不要なのです！

医師事務作業補助者 續山 純

